

(特非) 日本エコツーリズムセンター

サステナブルツーリズム 国際認証制度の 日本導入・普及について

フロントランナー
助成

3年目

知識の提供・
普及啓発



秋田フォーラムで仙北市宣言を発表

海外からの専門家を
招へいし秋田で開催した
フォーラムの参加者

100人

国際認証のトレーニングプログラム
の教材開発と研修の実施

15人参加

活動の全体目標に
対する達成度

70%

課題

世界的に観光産業が急速に伸びる中、地域コミュニティや資源を持続可能にしていく観光が求められている。国際的な基準があり、これを日本でも導入していく必要がある。

目標

サステナブルツーリズムの国際基準、GSTC (Global Sustainable Tourism Council) の認証制度を研究し、国内で認証制度導入とモデル事例づくり、トレーナー育成をはかる。

活動内容

GSTCのサステナブルツーリズム国際基準について、国内での認知と普及に努め、基準の日本語訳を作成。研究会を継続的に開催し、基準の読み解きや日本で導入するための検討を進めた。全国フォーラムを熊野、尾瀬片品、秋田仙北で開催し、報告書を刊行。毎回海外ゲストや地域のキーマンから話を伺った。アジアのネットワークに参加し、GSTCトレーニングプログラムの指導者養成、国内でのトレーニングプログラムを実施した。



3年間にわたり
作成・刊行した報告書

達成できなかったこと

GSTCに準拠した日本の認証制度の制定と、その運用機関としての申請。

今後の展望

地域に則したモデル的な事例づくりとトレーニングプログラムを行い、世界的な潮流を社会へ示していく。

成果と工夫した ポイント



成果

秋田フォーラムでは、秋田国際教養大学と仙北市と連携し、グリーンツーリズムに取り組む地元の方にも参加いただいた。最終日に「持続可能な観光を目指す仙北市宣言」を市長から発表し、国連HPで掲載された。

工夫

国連世界観光機関、GSTCなど世界的な基準と、日本の地域の取組みを効果的にマッチングしていった。